

令和6年10月21日からの大雨による災害発生箇所の現地調査 (宮崎県延岡市浦城町)

令和6年10月21日からの大雨により宮崎県延岡市浦城町において斜面崩壊が発生し、全壊1戸、行方不明者1名の被害が発生。

延岡市からの要請を受け、TEC-Doctorを派遣し、捜索活動時の安全対策等への助言を頂いた。

出席者:宮崎大学 末次教授、延岡河川国道事務所

● TEC-Doctorによる現地調査(令和6年10月23日)

被災状況



現地確認



安全対策の助言



【今回の土砂災害について】

○斜面の土砂自体の風化が進んでいたのに加え相当量の降雨があったことにより、斜面崩壊が発生したと思われる。崩れた箇所の周辺にも亀裂が入っている可能性もあるため、今後、斜面对策を検討する際には、詳細な調査が必要である。

【救助活動時の安全対策への助言】

○現場内には大量の土砂と倒壊した擁壁が不安定な形で残存しているため、捜索箇所周辺の不安定土砂を全て撤去することが最善策である。

○時間的な制約を考慮するのであれば、倒壊している擁壁が重機による振動等でさらに倒れないように、支保工等の設置による安全対策を施したうえで、道路側の作業スペースから慎重に掘り進めることが次善策である。